

授業科目名・形態	病態治療学Ⅰ（呼吸器）	演習	必修・選択の別	必修
担当者氏名	村上 力也	開講期	2年前期	単位数 2

【授業の主題と目標】

国家試験合格に必須の知識はもちろん、合格後、第一線の臨床に出た際に応用可能な知識・考え方の基礎を身に付ける。

【到達目標】

- 1) 解剖、呼吸のしくみを理解すること。
- 2) 多彩な呼吸器症状とその原因を理解すること。
- 3) 各種呼吸器疾患と症状、そのケアについて理解すること。

【授業計画・内容】

第 1 回 総論

解剖、生理、症状、身体所見

呼吸器画像診断、呼吸機能診断、その他の呼吸器関連検査

第 2 回 各論-1

COPD、気管支喘息、肺塞栓症、ARDS

第 3 回 各論-2

肺炎、間質性肺炎、肺結核

第 4 回 各論-3

肺腫瘍、気胸、過換気症候群、睡眠時無呼吸症候群

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

【授業準備】

授業回数に対して講義範囲が大変広いです。一回の講義では理解が難しいと思います。教科書を中心に講義を行いますので、教科書の該当部位を事前に一読するようにしてください。

【主な関連する科目】

成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

【教科書等】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔2〕呼吸器（医学書院）

【参考文献】

【成績評価方法】

以下 1)2)で総合的に評価します。

- 1)筆記試験(多肢選択問題および筆記問題) 90%
- 2)出席状況・授業態度 10%

【学生へのメッセージ】

現場で良きパートナーとなれる日を楽しみにしています。